



想像力

言葉で世界を彩る力

2025

7

先日、自習監督をしながら、子供たちと図書館で過ごす時間がありました。私は、このようなき、子供たちと一緒に本を読むようにしています。「最近の子供たちに人気の本は何か」、「自分が子供の頃読んだ本が変わらず置かれているのか、内容に変わりはないのか」などが分かり、楽しい時間となります。児童文学を大人になってから読むと人生経験を積んできたからこそ分かったり感じたりすることもあり、それはそれで面白いものです。そういえば昔、「ルドルフとイッパイアッテナ」シリーズの作者 斉藤 洋さんとお会いして色々とお話したことがあります。この方、なかなかユニークな方で、「ほくは『友情』という道徳的な価値はいらないと思うんだよ。だって、人間には『親切』という価値があるでしょう。困っている人がいれば、助けようとする本質があるんだから、わざわざ『友情』なんていらなく思わない？」とおっしゃるのです。この時の私は答えに詰まってしまいました。「いや、大切だと思いますよ。だって……。」としどろもどろになってしまい、明確な根拠を示すことができませんでした。まあ、答えを求めていたわけではなく、哲学的な対話であったのでしようが、なぜなら、「ルドルフとイッパイアッテナ」には「友情」について考えさせる内容がいっぱい詰まっていますから。

閑話休題。宮浦小学校の図書館で一冊の本を見つけました。私がか子供の頃に夢中になって読んだシリーズのひとつ、江戸川乱歩「少年探偵」の一冊「怪人二十面相」です。(次頁へ)

Summer Vacation begins



お話いっぽ夢公演の様子

誰かと一緒に物語を楽しんで、こんなにあたたかい。心がつながるって、こんなに嬉しい。今日の笑顔やドキドキは、きっと子どもたちの胸の中で、輝き続ける。

「想像することは夢を かなえる第一歩」

byお話いっぽ

(前頁より) 当時は油絵で描かれたおどろおどろしい雰囲気の写真絵となっており、この本を手取るのにちょっと勇気がいるような装丁がされていました。それに比べると今の表紙はすいぶんあっさりしたものになっていますが、それには変わりありません。懐かしさを感じつつ内容を読み進めてみて、ふと思いました。「あれ、こんなに言葉遣いが難しかったっけ？」確かにこの話が書かれたのは、1936年、日本が太平洋戦争へ向かっていく昭和初期という時代ですから、当時の言葉遣いが使われているのは分かります。とはいっても児童向けの推理小説ですし、自分も子供のころ読んでいたのですからそれなりだろうと思っていました。果たして最近の子供たちがこういう言葉を知っているだろうか。知っていたとしても日常的に使っているだろうか。いや、もしかすると大人でも……。

「ぼくは『友情』という道徳的な価値はいらなと思うんだよ。だって、人間には『親切』という価値があるでしょう。」



道徳の時間

感じたことを素直に伝え合う。その中で「ああ、こんな考え方もあるんだ」と、新しい発見に出会えます。

友達の意見を聞くことで、自分の考えを見つめ直すきっかけになるのも、道徳の授業ならではの大切な学び。

無頼漢(ぶらいかん) 神変不可思議(しんぺんふかしぎ) 鼻下(ひか) 確間(かくま) 快男児(かいだんじ) 希代(きだい) 帰朝(きちよう) 円満柔和(えんまんにゆうわ)

初めの数ページの中に使われている言葉の一部を抜き出してみましたが、これが児童向けの小説に使われているのです。救いは漢字によりその意味はある程度予想できることでしょうか。しかし、その漢字を知らない学年にはなかなかハードルが高いなと感じました。また解説によると、現代の子供たちにとって難解な言葉は優しい言葉に一部変えてあるとのこと。逆に言うと、当時の小学生はこのような文章を読んでいたということ。そういえば日本語はおよそ50万語あるそうですが、最近では大人でも一日に使う言葉は800語から900語なんだそうです。確かに子供たちの会話を聞いてみると、「やばい」が連発されています。よい意味でも悪い意味でも使える「やばい」は便利な一方で、自分の感情を適切に表現する言葉が知らず使えないこと、相互理解が難しくなったり、

誤解を招いたりする場面もあるようです。さらに、多くの日本語が絶滅してしまったりすることにつながるかもしれません。

7月14日(月)に本校の読み聞かせサークル「お話いっぽ」さんによる読み聞かせ劇が、1・2年生を対象に行われました。今回は1年生が「おむすびころりん」、2年生が「ミリーの帽子」という教科書に出てくるお話が中心でした。子供たちがお話に興味を持ち、自分から読書に親しむことができるようになると願いを込めて、様々な工夫が盛り込まれたユニフォームあふれる演技や読み聞かせ、本の紹介などをしてくださいました。

「お話いっぽ」さんは「想像することは夢をかなえる第一歩」を大切に活動されています。私も鑑賞するたびに大いに笑って楽しい時間をいただいております。大人も子供も楽しめる素敵な活動だなあと感じています。想像の中では、言葉で世界を彩ることが出来ます。子供たちが心の中で大きく想像を膨らませ、自分自身の人生を楽しんでいくことができるように、この夏も多くの体験を通して豊かな言葉との出会いがあることを願っています。

8・9月の行事予定

8月	
21	出校日
9月	
1	始業式
4	委員会活動5
9	授業参観学級PTA①(1~3年)
10	授業参観学級PTA②(4~6年:放)
11	クラブ活動1
18	クラブ活動2
24	宿泊学習1日目
25	宿泊学習2日目
26	宿泊学習休養措置日
28	PTA環境整備作業(7:00~8:30)
30	身体計測・視力測定(下学年)



緊急連絡先等

[タップするだけで役立つ情報に繋がる宮浦小マップ。感染症に罹患した場合も入力を!](#)



地図を手に「ここはどこ？」に挑戦!

最初は一人で探していたけれど、分からないときはすぐに顔を見合わせ、「ここかな?」「一緒に探そう!」と声を掛け合います。助け合いながら学ぶ、その姿に教室があたたかくなりました。